

時流と共に変化する経営のヒント ～スタッフが輝く仕組がわかる実践企業訪問～

市と協働する市民団体「出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議」では、ワーク・ライフ・バランス推進の活動を行っています。1月27日、公募した市民の皆さんと共に企業訪問を行いました。訪問先は「ワーク・ライフ・バランス」を経営戦略と位置づけ、社員さんのやる気を引き出すことで業績を伸ばしている事業所2か所です。働きやすい環境作りなど様々な取組を伺い、異業種交流・情報交換も行いました。

NPO法人コミュニティサポートいずも

「社会変化に強い組織になるために」

介護福祉の業界は、必ず3年に1度の制度改正があります。そこで、社会変化に強い(柔軟でしなやかな)組織づくりを目指しています。まだ手探りですが、それが経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの取組です。人材難といわれるなか、職員が「この職場は働きやすい」と自分の知り合いを紹介してくれるので助かっています。



●フレックスタイム制の導入により労働時間を自己管理し自主的に働く●月例会議で職員自らがボトムアップのために何をしていくのが発表しシェアする●職員の疲弊を予防する体制作り●職員のSOS窓口設置●研修への参加推奨●ノー残業デーの実施●子ども家族看護有給制度(5日/年)など

参加者感想

★各経営者の方のお話は現実的で参考になりました。★やってみたいことを何でもやってみる、どんなことでも挑戦していくことが大事だと感じました。★仕組ができると、自発性が出てどんどん良いアイデアが出てくるんだなと思いました。

ワルツ商事有限会社

「お客様の喜びは我が喜び」

サービスを提供する人(社員)こそが最大の商品であるとの思いから、社員とその家族の幸せを願い、働きやすく社員一人ひとりが考え行動でき、喜んで働ける職場をつくるための取組に力を注いできました。

「人と社会に役立つ人財が育つ」環境整備を行っています。



●「活力朝礼」による社風改善●月1回の経営会議／全社員参加(月次決算も公開)●少人数でチームを編成。活動計画を作成し目標を持って仕事をする●各種表彰制度を設ける●家族にお父さんの仕事を知ってもらうために仕事中の写真を撮り投票で選んだ写真で「お客様の喜びを創れカレンダー」を作成し顧客にも配布●有給休暇取得の推進●わくわくホリデー(5日連続休暇制度)●社内の見える化●社内図書の設定●ありがとうカードなど

誰もが働きやすい環境は、仕事のモチベーションも向上します。

まずはお金をかけなくてもできる「コミュニケーション」から始めてみませんか？

平日にもっと家族と過ごす時間が欲しいなどうやったら残業を減らせるチームにできるかな(管理職・40代)

いつも夜遅くまで仕事だけど

共働きだけど子育てや家事はほとんど妻の私

仕事を続けたいけど夜勤や子どもが休みの土日の出勤も多いから(仕事と子育てや家事を)両立するのは大変だわ(看護師・30代)

体力的にきつい仕事が続き疲れがたまってきたなあそろそろ休暇をとって休みたいなあ(建設会社勤務・50代)

親の介護で遅刻や早退が多くなってしまう職場に迷惑をかけたくないし両立するにはどうしたらいいかしら(事務職・50代)

今の仕事は好きなので、資格をとってもっと専門的な仕事ができるようになりたいな

夜間の大学に通いたいな(技術職・20代)

誰もがいろいろな思いや事情を抱えて働いています。優秀な人材の確保と定着が大切です。



vol.8

ヴァップ

「Vappu」

日本でも5月1日はメーデーのニュースがよく流れるようですが、フィンランドのメーデーは「Vappu」と言い、労働の日でもあり、学生のお祭りでもあります。

Vappuそのものは5月1日なのですが、お祝い行事のほとんどは4月30日に行われます。フィンランド人はvappumarkkinat(メーデーマーケット)に行き、リコリスという長いお菓子を買ったり、メーデーポンポンを振ったりします。

そのほか、高校か専門学校の卒業式で被った白い卒業帽子を大切にしておいて、Vappuの時だけ被って騒ぎます。また、いくつかの都市では、決まった銅像にも卒業帽子を被らせます。

家からあまり出ないフィンランド人でも、5月1日には、必ずピクニックをします。雨が降っても、大変寒くても、いろいろな春を感じる料理や飲み物を

こんにちは！

国際交流員のアンナです。
フィンランドから来ました。



持って行って、卒業帽子を被ったままでピクニックを楽しみます。

もし機会があれば、ぜひフィンランドのVappuを体験してみてくださいね。楽しいですよ！



国際交流員は、国際理解教育の場などに積極的に参加し、地域の国際化のために活動しています。
おたずね／国際交流室 ☎21-6576

特別講演会

出雲科学館特別講演会

「はやぶさ」の偉業と「はやぶさ2」

平成27年7月20日(月・祝)
14:00~16:00

講師

かわ ぐち じゅん いち ろう
川口 淳一郎 氏

内容

「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーを務められた川口さんに、宇宙開発の目的と現状を「はやぶさ」の挑戦をまじえながらお話しいたします。また今後の展望について「はやぶさ2」プロジェクトにふれながら紹介いたします。

主催

出雲市、出雲市教育委員会

共催

中国電力株式会社

場所

出雲科学館 サイエンスホール

対象

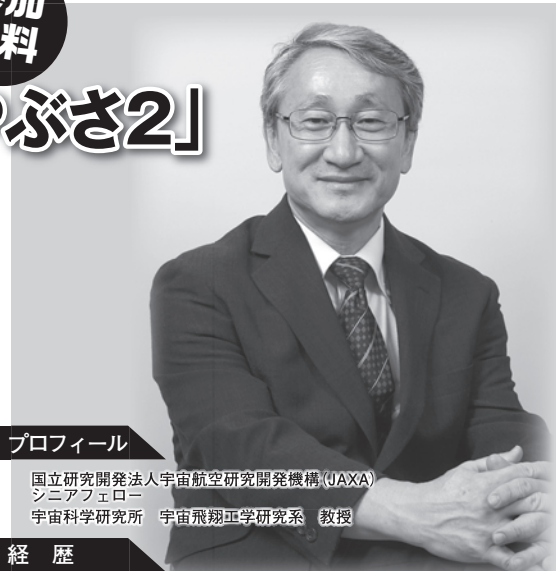
小学4年生以上 ※就学前のお子さまを対象に託児を予定しております。
ただし、ご希望に添えない場合があります。

定員

250人 ※入場無料

応募締切

6月30日(火) ※締切日必着

参加
無料

プロフィール

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)
シニアフェロー
宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系 教授

経歴

宇宙工学者、工学博士。
1978年 京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。
2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループ プログラムディレクター(JSPEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャーを務めた。

講演会の応募方法

ハガキ、科学館ホームページ、ファクス、科学館の受付カウンターのいずれかで応募してください。

■いずれの場合も1通につき2人まで応募できます。※応募者全員の必要事項(右記のとおり)を明記してください。

■応募者多数の場合は抽選により決定します。(2人応募の場合は2人1組として当落を決定します。)

■抽選の結果は応募締切後10日以内にハガキでお知らせします。

■ファクスなど送信先にお間違いがないようご注意ください。

■記入事項に不備があると受付できない場合があります。

おたずね／出雲科学館 ☎25-1500

<応募での必要記入事項>

- ①講演会名
- ②氏名(フリガナ)
- ③学年と年齢
- ④郵便番号・住所
- ⑤電話番号
- ⑥託児希望の有無(託児希望の場合はお子様の人数、氏名(フリガナ)、年齢を明記)